

和倉小だより



7月号②

七尾市立和倉小学校

TEL 62-2070

FAX 62-2082

文責：佐野

「わくらっ子の日本一をアップデート！」 **進取 協働 貢献**

学校ホームページ <http://www.city.nanao.lg.jp/wakurasho/>

学校メールアドレス wakurasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp

地震・津波想定での避難訓練・引き渡し訓練・防災研修会 ～石川県学校安全総合支援事業(災害安全)～

能登半島地震から半年が経ちました。本校は、今年度、「石川県学校安全総合支援事業（災害安全）」の指定を受け、校区の3つの小中学校を連携校として、地域一体となった研修を行いました。金沢大学准教授の石川県防災アドバイザーである青木賢人氏を招聘して、ご指導・ご助言をいただきました。児童や教職員の防災に対する意識の向上と、安全を確保する質の高い学校安全の取組について、専門的な知見をもとに学ぶ貴重な機会となりました。

避難訓練では、緊急地震速報で「震度6強」の想定であるとの避難情報をしっかりと聞き、先生方の指示をよく聞き、防災マットを頭にのせて、速やかに安全に一次避難行動ができました。保護者の方には、通信不可でメールが送信できなかつたり、校内放送が使用できなかつたり、避難中にけが人が発生したという数々な状況の中で、いかに対応できるかを訓練してみました。児童の避難の仕方は、見事でした。本校は、海拔17.5mにあり、和倉で一番安全な避難場所です。しかしながら、1月1日の大地震を経験し、今後に備え、最悪のシナリオになることを想定して避難訓練を実施することがいかに重要であるかを再確認しました。

引き渡し訓練では、前日のメールを入れずに1週間ほど前のお知らせで昨年度との大きな変更点（ドライブスルー方式）をお知らせしました。校地内の車の出入りは、一方通行のルールで安全に気をつけて誘導員に従うことを周知していただきました。教職員は、人数が限られている中で、総動員で児童と保護者の車の両方の安全確保に努めました。多少不都合があったかと思いますが、保護者の皆様のご理解とご協力のお陰で無事に全員を引き渡すことができました。しかし、計画通りにならず混乱することが予想されますので、改善策を見出していきます。さらに、避難される方で校地内は、混雑が予想されるため車で送迎どころではないかと思えます。送迎手段も徒歩であったり、児童を学校に留めたりすることも十分に考えられます。青木アドバイザー様からは、今後の想定されている「活断層」の内容をお聴きし、児童の命を守り、安全確保を最優先するために、普段からの準備が重要で保護者や地域の皆様とのルール作りをすることをご指導いただきました。

＜アドバイザーから指導を受けた今後の課題として＞

- ・児童と避難者とのゾーンを分ける。（校庭や教室の使い方を考える。）
- ・児童を保護者に引き渡すための動線を確認する。
- ・引き渡す時にサインをしてもらい、渡した証拠を確実に記録で残す。
- ・備蓄として、水（ペットボトル2L）を一人1本ずつ確保しておく。
- ・普段から校内の整理・点検をして、危険のあるものは置かない。

（高い所から落ちてくるもの、倒れてくるもの、動いてくるもの）



「ほめほめ・和倉っ子」で 元気な挨拶の声を！

朝、散歩をしている方が、和倉小学校の子ども達に会って、元気に挨拶をしてくれてうれしいです。こちら元気が出ますと言われて、こちらありがたい、うれしい気持ちになりました。ご家庭での挨拶はもちろんのことですが、和倉の町にも挨拶の音が響くと心があたたかくなりますね。

学校では、「いい声が出ますね。」「挨拶が上手ですね。」と褒めると、次の日は、「校長先生、おはようございます。」と名前を付けて挨拶をしてくれます。褒められると、次の日もまた次の日もと、さらに上手な心のこもった挨拶ができるようになるので、何とすてきな子だなあと感心している毎日です。未来の和倉を築く子どもたちの育成のためにも、家庭でも地域でも「ほめほめ・和倉っ子作戦！」で声をかけていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

和倉温泉創造的復興に向けて…

10月1日(火)「わくら千年桜プロジェクト」として、和倉小学校の児童が参加することになりました。5,6年生が、ゆったりパークで「能登復興のシンボル」としての桜の木の植樹をします。

また、10月26日(土)には、「よさこい祭り」に全校で参加することになりました。そのため、10月28日(月)が代休となります。ぜひ、子ども達が元気いっぱい踊る姿を応援してあげてください。

そして、和倉の復興に向けて、一人一人自分ができること、学校ができること、和倉の町ができることをそれぞれの立場で考えながら、一步一步進んでいきたいと考えています。3~6年生も総合的な学習の時間に復興に向けて、テーマを設定して学習に取り組んでいます。今後、「和倉トーク」の場で子どもたちも「こんな町にしたい」という意見を出し合う場を設定していただけるとのことです。ご家庭でもそれぞれのアイディアを出し合い、話し合ってみてくださいね。



北国新聞

(7月11日朝刊より)

交通事故や事件にならないように未然の指導を！

和倉校区の方から、「道路で遊んでいる子がいて、危険です!」「ボールやキックボードで遊んでいて交通事故にならないかと心配です。」「危険なので、保護者の方にも協力してもらい、注意を呼び掛ける回覧板を回そうと思っています。」「石崎小学校の児童とのトラブルがありました。」「人の家に敷地に勝手に入る子がいて、迷惑です!」「自転車のヘルメットをかぶらずに乗っている子がいます。」「インターフォンを押してピンポンダッシュをする子がいて困っています。」などの声があり、いろいろとご迷惑やご心配をおかけしているようです。

夏休み中は、暑さも厳しくなり、熱中症の危険性も高まる中、家庭での過ごし方が心配されることと思います。また現在、学校のプールが破損していることにより、夏休みも使用できません。また、地震で危険箇所が増え、遊び場がなくなっている現状です。ますます夏休みの過ごし方について、事故や事件につながらないように、学校でのきまりについての学級指導に加え、地区別子ども会でも安全指導をしていきます。また夏休み中は、児童の校区の見守りとして、教職員が分担して巡回をする予定です。さらに、夜間には、校区の地域づくり協議会の防災防犯部や小中学校のPTAの安全指導委員会、民生委員児童委員の方々が、当番を決めて



全校でラジオ体操の練習

和倉地区の何か所かの巡回コースの見回りをする予定です。保護者の皆様におかれましても、ぜひ放課後や休日中の過ごし方について、安全に十分気をつけるように子ども達にご指導ください。